

キッズみんなの日記

12月号

あまり人気がなくて、人が遊びにきてくれなかったので、ちよつとさびしかったです。

来年は、もっとおもしろいゲームでもりあがりたいです。(小三・MI君)

一生懸命準備した出し物。お客さんの入りが今一歩とは残念でしたね。一君は残念な気持ちを上手に表現しています。最後の一文は、今年の反省を活かし、来年への意気込みでまとめ、前向きで爽やかな印象を与えています！

★★段落分けをして

メリハリをつける★★

夢ランド

夢ランドとは、学校でやるおまつりみたいな物です。私のクラスは、人間スゴクと、しゃてきと、もぐらたたきと、くじびきです。

私は、くじびき係です。前半は仕事なので、はやく遊びにいきたくなく

つて思ったら、あつというまにすぐおわりました。私は、「やったー」と思いました。

最初に行ったのは、五年のおばけやしきです。あまりこわくなかったです。

次は、スライムを作りに行きました。なにか、いろいろ入れてできあがりしました。

そして、次は、ダンボールめいろに行きました。クイズをどんどんといいて、私は、一番目だけまちがえしました。それは……ゲゲゲのきたろうの目玉おやじは、もときたろうの目であるか？○、×と書いてありました。

私は、そうだと思って○にしたら×だったからくやしかったです。(小四・NMさん)

「夢ランド」が何であるか、Mちゃんのクラスの出し物は何かを上手に説明しましたね。「夢ランドの概要+前半の仕事」と「夢ランドで楽しんだこと」段落分けをきちんとすることでメリハリのある文章に仕上がっています。

★★★感情の変化や高ぶりを

生き生きと★★★

サイコーの気分

四時間目に体育の授業でした。縄とびをして、先生に

「M、前とび千回いけよ。」
「はい、がんばります。」
と言われた。

と言いました。

五百回とび終わった時に、なんとなく右の足がいたくなりました。でも、

私は、絶対に千回いこうと思いません。

せいっぱいがんばって千回いけました。

でも、私はもっといきたいと思って続けました。そうしたら、三千六回いきました。とってもうれしかったです。

でも、私はもっといきたいと思って続けました。そうしたら、三千六回いきました。とってもうれしかったです。(小五・HMさん)

Mちゃん、三千回超えとは頑張りましたね！途中、足の痛みに不安な気持ちになり、それでも自分を奮い立たせ、目標を達成すると更なる欲が出たことを「不安」→「奮起」→「挑戦」と見事に感情の変化を表現しました。お見事です！

職場体験

今日は、職場体験に松戸愛光園に行きました。

私は、二階の担当でした。二人のおばあちゃんと、おり紙、あやとりをしました。おばあちゃんたちは、とっても上手にできていました。あやとりは、一人あやとりなどをしました。そうしたら、おばあちゃんたちがよろこんでくれてよかったです。

私は、老人ホームに行ったのは三回目でした。でも、愛光園は、初めて行ったので、とても楽しかったです。(小六・NYさん)

職場体験で三回も老人ホームを選んだYちゃん。老人たちと触れ合っている場面の描写は、敬意、いたわり、優しさに溢れています。相手の喜びを自分の喜びにかえられるYちゃんは本当に素敵です！

優秀作品紹介

★「感想」+「目標」で

まとまりのある文章に

夢ランド

今日、学校で夢ランドがありました。ぼくのクラスはギリギリゲームをやりました。車を走らせて、どの位ギリギリに止まれるかをきそうゲームです。ぼくのかかりは、カードにスタンプおすことです。



夢ランド

今日、夢ランドがありました。夢ランドというのは、前半と後半に分かれてお店をひいたり、そのお店を回ったりする東部小の一年に一度の行事です。

私は、始めに仕事で、お化け屋敷のお化け役です。なかでは、BGMが流れていて人体模型やがい骨が

あつたりもします。中にはトンネルがあつて、その中でたまにきりふきをか

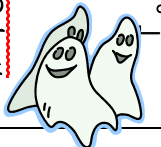
けたりおどろかす担当になりました。もう一人咲ちゃんという子もトンネルの中にいて、

「できるかな。おどかせるかな。」と私が言うと、咲ちゃんは、

「大丈夫だよ。」と言いました。小さい二年生の子たちが泣いていたりしたので、あつ、こわ

う間に前半が終わってしまいました。後半で私たちが遊ぶ番です。私は、穂香ちゃんと彩花ちゃんとグループに

なり、急いでスポーツランドにならびに行きました。私が、東部小スポーツランドの中で一番楽しかったのは、ビーチフラッグです。私は穂香ちゃん



とヘアになってよいドンで、起き上がって走って旗をとりました。私の方が少し早く二秒と三秒の差で勝ちました。うれしかったです。

(小六・KKさん)

Mちゃんのお化け屋敷の説明を読んでいるだけで怖さが伝わってきますね。また、怖がらせることができたかどうかを、二年生の女の子が泣いたことで表現したところも上手いですね。周りの人の様子に目を向け、上手に描写した良いお手本です。

発表会

「次は、KK君です。」作者の氏名ぼくの番が回ってきました。

今日は、ピアノの発表会です。ぼくは、六年生なので、ピアノを弾く順番は最後のほうです。

ピアノの席について、ピアノに手を置きました。横をむいたら、たくさん人がぼくを見ていたので、きん張して手が動かなさそうになりました。ピ

アノを弾き始めるたら、スラスラとま

ちがえずに弾くことができました。弾き終わったら、たくさんの方が手をくわいて、とてもうれしかったです。

(小六・KK君)

K君の緊張がこちらにまで伝わってくるようですね。文章の書き出し、観客の視線、緊張感を伝えるための工夫が随所にみられます。最終段落での拍手がK君の達成感と安堵感を上手く表現しています。今月の最優秀作品に認定します！

カラオケ

今日、私は家族でカラオケに行きました。私はカラオケに行くのが初めてで、どんな所なのかなあと思いました。

私は、最初歌うのがはずかしかったけれど、弟や親はとってもノリノリで歌っていました。

歌を歌っていく打ちに、だんだん楽しくなってきました。弟と一緒に歌ったりもしました。

カラオケはこんなに楽しいものだとは、知りませんでした。これから、またカラオケに行きたいです。

(小六・Hさん)

カラオケデビューですね。「期待」↓「羞恥心」↓「楽しい気持ち」と感情の変化を上手に表現しています。そして、感情が変化するきっかけとして、弟や両親の楽しそうに歌う様子を「ノリノリ」と見事に描写しています。見習いたいテクニックです。

ことばのちから

編集長市澤祥子の気まぐれコーナー

落語家の立川談志さんが亡くなったことをニュースや新聞で目にした人も多いことと思います。そして、亡くなってから何日も、たくさんエピソードと共に立川さんの死を惜しむ声が聞かれます。もちろん、立川さんの人間性、人柄が一番の理由でしょうが、言葉



伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

こぎつねコンとこだぬきボン 童心社 松野正子 著/二俣英五郎 1冊
ともだちになるのは、理由でなくて、友だちになりたいというきもちが大切だとおしえてくれる1冊!



★★★中学年★★★

イソップのお話 岩浪少年文庫
イソップ 著/河野与一 翻訳
有名なイソップ 童話集から少年少女のために選りすぐった300編。「ライオンとねずみ」「北風と太陽」など。朝の読書にもおすすめ!



★★★★高学年★★★★

飛ぶ教室 岩浪少年文庫
I-リヒ・カトナ 著

ドイツのキルヒベルクにある中学を舞台にクリスマスシーズンの学校でおこる大小の事件を、寄宿舎に住まう生徒たちが知恵と勇気を持って解決していく物語。

笑点の大ファンだという小学生はなかなか少ないでしょう。なじみの薄い落語だと思えますが、実は、最近我が家では川端誠さんの「落語絵本」なるものが流行っています。一年生の長男が学校の図書館で見つけてきたのが始まりです。インパクトのある絵といい、日本語の面白さといい、日本文化の素晴らしさといい、子供達はもちろん私まで楽しく読んでいます。そして、子供達は「落語」「日本文化」「シヤレ」などに興味を示し始めました。今では、休日に図書館へ行って、全ての落語絵本シリーズを読み尽くそうとするほど夢中に。先週は、落語絵本を含め、なんと全16冊借り、一週間ほど読み切りました。みなさんも、機会があつたら是非読んでみては。クリスマスプレゼントに「本」をおねだりするのにも良いですね。「伊藤先生のおすすめ本」は、その季節にピッタリのものばかりです。自分好みの本に出会うまでは、おすすめ本を参考に読み始め、本の楽しさや言葉の力に気づいてくれることを願っています。今まで知らなかつた新しい世界が待っていますよ。